

東日本大震災災害支援報告書

巡回日	巡回先名
平成25年8月30日～ 9月1日	岩手県陸前高田市 米崎小学校仮設住宅 作業所きらり、 岩手県大槌町 子ども夢ハウスおおつち 特別養護老人施設 三陸園
担当者名	職種
白根雅之	歯科医師 歯科衛生士
	所属
	岩手三陸復興の狼煙作戦

巡回メンバー（メンバーの氏名と職種・所属）

白根雅之：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦

清水夏子：歯科衛生士 所沢あおぞら歯科診療所 岩手三陸復興の狼煙作戦

山崎耀樹：元教員 現地駐在（釜石）支援員兼記録者 岩手三陸復興の狼煙作戦

歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名 支援員兼記録者 1 名 計 3 名

協力者

大和田剛史：岩手県気仙歯科医師会会長

佐藤一男：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長

伊藤勇一：岩手県陸前高田市作業所きらり所長

芳賀チネ：岩手県大槌町特別養護老人施設三陸園園長

吉山周作：子ども夢ハウスおおつち施設長

東平享浩：桜ライン 311 スタッフ（被災地域案内）

丹羽房子：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅長

健診、簡単な歯科治療、口腔保健指導・教育を受けた人数

米崎小学校仮設住宅	14	人
作業所きらり	14	人
三陸園	14	人
子ども夢ハウスおおつち	15	人

支援内容

米崎小学校仮設住宅：口腔機能の向上に関する講話、健口体操、簡単な歯科治療、義歯洗浄剤・安定剤、キシリトール入りグミ・チョコレートの、フッ化物配合歯磨剤、ガチャポンの中身配布

作業所きらり：利用者さんに対する歯科保健に関する講話
口腔機能の向上（機能訓練の実習）義歯洗浄剤・安定剤、キシリトール入りグミ・チョコレート、フッ化物配合歯磨剤の配布

子ども夢ハウスおおつち：利用者さんに対する歯科保健に関する講話
染め出し歯ブラシ実習、キシリトール入りグミ・チョコレート、フッ化物配合歯磨剤の配布

三陸園：あらかじめ必要な入所者さんを選択していただき、口腔ケア指導、摂食嚥下機能訓練指導、簡単な歯科治療、保湿剤、スポンジブラシ、義歯洗浄剤、マスク、グローブの配布

*全ての場所において責任者さん及び従事者の方との懇談を行った。

協賛

サンスター株式会社：保湿剤（バトラージェルスプレー、うるおい透明ジェル）、歯間ブラシ、歯ブラシ、スポンジブラシ。

グラクソ・スミスクライン株式会社：ポリデント

モリタ株式会社：チェックアップジェル

T&K株式会社：保湿剤他サンプル製品や指導書

有限会社ビーエムジャパン：ガチャポン

埼玉県歯科医師会：口腔ケアに関するパンフレットなど

考察

1. 仮設住宅に関して：

歯科治療の必要性を住民の方々が自覚しつつあるようだ。適宜歯科医院を受診している。しかし問題は独居であったり、身体的理由により歯科医院への通院が困難な方への支援が必要性は変わっていないと思われる。今回も前回同様に、口腔機能の維持向上に視線を向けていただき、そこからの歯科保健の啓発を試みてみた。今回も、自治会長の佐藤氏および婦人部長の丹羽氏のご尽力の影響はやはり大きいと思われ、多数のご参加を頂いた。最後は健口体操やストローと綿棒を用いた口唇閉鎖訓練、ストローと紙コップ中に水、ゼリーを入れたブローイング訓練などで盛り上がった。終了後は希望者に歯科健診および簡単な歯科診療を行ったが、ニーズは多くなかった。今後の指針として、米崎小学校仮設住宅においては、周辺の歯科診療所の復旧とともに歯科の治療に関しては大分供給がスムーズになっており、支援の内容を「口腔機能の維持向上」へと転換するべきかと思われた。しかし近隣にはにはまだ数多くの仮設住宅が点在しており、ボランティアの介入には格差が生じていると聞いている。それらの仮設住宅の自治会長の集まりの代表である佐藤一男氏を通し、未だ私たちの支援を必要とする仮設住宅を開拓していただくお願いすることとする。

2. 就労継続支援 B 型事業所に関して：

4度目の訪問となる作業所きらり。間2回の訪問時には講話や染め出しだけで対応してきたが、約1年ぶりの歯科健診にもかかわらず利用者さんたちは仕事を優先し、受診率は今までの半分となってしまった。やはり“歯科健診”となるとメンタル的に落ちてしまうのだろうか？しかし逆に平素の歯科への受診が今回の健診の受診の減少にも繋がっているらしいと、施設長の伊藤氏からの提言もあった。さらに、自分の講話の内容のレベルがやや低すぎて、嫌気がさしている方もいらっしやると、職員の女性から指摘を受けた。どちらのレベルに合わせて支援を行っていくべきか、今後施設長の伊藤氏と検討していく所存である。

3. 特別養護老人施設に関して：

三陸園は7度目の支援となる。今回の歯科のスタッフは歯科医師1名、歯科衛生士1名だけ、2名で対応させていただいた。前回同様、対象者を事前にピックアップしていただいた。PEG造設者など比較的施設の方にとって手間がかかる方、口腔ケアの難しい方、義歯が合わなくなってしまった方などが中心であった。協力歯科医師の小松先生の訪施設体制が構築され、隔週水曜日の対応がなされていることが分かった。簡単な治療に関しての支援は終末が近いと感じた。しかしその反面、受診勧奨のための歯科健診や、時間のかかる摂食・嚥下機能訓練のアドバイス、口腔清掃については、協力歯科医師の小松先生と協議し再考していこうと考える。施設職員対象の口腔ケア講習会の必要性については今回実現できなかった。今後の活動において導入すべき事項だと考える。

4. 学童クラブに関して：

事前調査にて、震災後一回も歯科的な支援が入っていないという事で介入させていただいた。通常通り小学校に通学していることから、少なくとも年1回の歯科健診は受けていると確認している。しかし、う蝕予防の啓発を行う事までの歯科的フォローが不足しているのではと思い支援に踏み切った。う蝕の治療に関しては、多くの子たちが歯科を受診し、う蝕治療を受けていた。心配な子が一人いたので、健診のお知らせにその旨を書き、保護者に伝えていただくとともに、帰京後電話にて指導員の方にさらに詳しい状況をお話しさせていただいた。染め出しをいやがる子がいたが無理はせず、健診では口腔内を拝見できたので、その際にプラークの確認もさせていただいた。飴と鞭ではないが、健診後手品をしながらキシリトール入りチョコレート配布しよう計画したが、途中で見破られグダグダになり中断。比較的取りまとめられそうな子を選んで事後の配布は任せた。年に一度ぐらいはこのような形で施設の指導員の方々や子供たちに啓発を行う事は今後も必要であると感じた。



子ども夢ハウスおおつち
における講話



染めだしと歯磨き指導



お口の健診



終了後の集合写真



作業所きらりの冷蔵庫に
私たちの活動記録が！



吹き戻し笛による口唇閉鎖
訓練をしている



米崎小学校仮設住宅集会所にて
講話”一生自分のお口でたべよう”
パート2



口腔機能訓練
ブローイングを頑張る



大槌町三陸園での看護師さん
との打ち合わせ



入所者さんについての
カンファレンス



歯科衛生士による
口腔清掃の介入



開口困難な入所者さんに
k-point 刺激を看護師さんに
レクチャー

巡回許可：岩手県気仙歯科医師会 大和田剛史会長様

岩手県歯科医師会 佐藤 保先生

岩手県釜石歯科医師会 三陸園協力歯科医師 小松元先生

岩手三陸復興の狼煙作戦 代表 佐々木龍夫

〒131-0031 東京都墨田区墨田 4-2-4-201 Tel 090-8423-2095

支援責任者 中里義博

〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町 4-13-23 Tel 048-964-4268